

# 令和5年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 大原 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

#### (1) 教科に関する調査（国語、算数）

##### 教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

#### (2) 児童質問紙調査

##### 児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

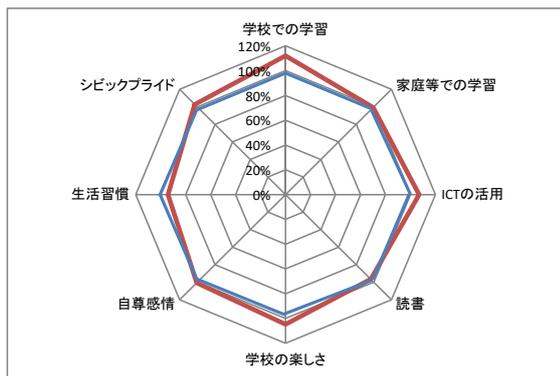
#### (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.4	59
全国	9.4	67	10.0	63

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	【知識・技能】の内容で「(2)情報の扱いに関する事項」は全国平均同程度、【思考・判断・表現力】の内容で「A話す・聞くこと」は平均同程度、「B書くこと」「C読むこと」は平均を下回った。解答形式では選択式・短答式は平均を下回り、記述式は平均同程度であった。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	【知識・技能】情報と図などの関連付けの問題、「A話す・聞くこと」考えや意図に応じ自分の考えをまとめる問題	
	努力が必要な問題	「B書くこと」作文の書き出しの工夫、「C読むこと」目的に応じ文章と図表を結び付けて必要な情報を読み取る問題	
算数	全体的な傾向や特徴など	「C変化と関係」の内容は全国平均同程度、「B図形」の内容はやや下回り、「A数と計算」・「Dデータの活用」の内容は下回った。【思考・判断・表現力】に関する問題は平均同程度で、【知識・技能】に関する問題は平均を下回った。解答形式で選択式・短答式は平均を下回り、記述式は平均を上回った。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	C変化と関係：伴って変わる数量の表からの読み取り、B図形：三角形の面積の求め方に関する記述問題	
	努力が必要な問題	A数と計算：( )を用いた式や加法と乗法の混合した式・分配法則、Dデータの活用：二次元の表の読み取り	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析	
・	「学級の友達との間の話し合いで、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」「授業で学んだことを他の学習で生かしている」と回答する割合が高く、主体的・対話的かつ横断的に学習を行っていると感じている児童が多い。
・	「学校に行くのは楽しい」「友達関係に満足している」と回答する割合が全国平均を上回り、友好的な友達関係作りができている児童が多い。
・	「人の役にたちたい」「地域や社会の役にたちたい」と回答する児童が非常に多く、キャリア教育等を通じて自分の力の将来への活かし方などを学んでいる成果が表れている。
・	「タブレット等を授業で活用している」と回答する児童が多く、ICTの活用が図れている。
・	生活習慣の項目で、就寝時間が少し不規則な点やテレビ・ゲーム・インターネット等の使用時間が長い点がアンケート結果に見られた。

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

- ・ 授業時間以外の1日当たりの勉強時間や一日の読書時間が全国平均より少ない為、家庭学習での指導工夫をより一層行ったり保護者との連携を図ったりして、継続的に学習を行えるようにする。
- ・ 教科において、基礎基本的な内容の定着をより一層図る為、今後もより丁寧に継続的な学習の取組を行う。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・ 就寝時間が不規則な点やテレビ・ゲーム・インターネット等の使用時間が長い点で、生活習慣を改善する指導を行う。
- ・ 地域やPTAとの協力・連携をより深め、地域や人を大切にしようとする児童の心情を育てる。